

たけたの食べ方\_グリーンファーム久住様

## ■タイトル

風そよぐ高原で生まれた、濃厚な卵の美味しさを届ける人

グリーンファーム久住 荒牧大貴



雄大な山々の大パノラマが広がる、阿蘇くじゅう国立公園。美しい自然の中にある、日本有数の平飼い養鶏場「グリーンファーム久住」の後継者が荒牧大貴さんです。

荒牧さんは東京の大学を卒業後、人材コンサルティングの会社に就職。家業のことを考えつつも、子どもの頃から憧れていたパイロットになるという夢を叶えるため渡米していました。そんな荒牧さんの考えが変わったのは、異国の地で自由で多様な価値観を持つ人々との出会いがきっかけ。そこで「自分が本当にすべきことは何か」と自身の生き方を見つめ直した荒牧さんは、生まれ育った竹田のことや、家族のことなどを考えて帰郷する決意を固めました。



「グリーンファーム久住」は、ケージでの養鶏に加え、平飼いの養鶏も行っていることが大きな特徴です。

「平飼い」とは、鶏たちを地面に放し、自然に近い環境下で飼育する方法のことです。ヒナの時から太陽の光や高原の風が入る明るい鶏舎でのびのびと生活することで、鶏たちはたくましく健康に育ち、高品質な卵が産まれます。

「鶏たちは鶏舎の中で、羽ばたいたり、砂浴びをしたり、広い鶏舎の中で自分の居心地の良い場所を見つけて自由に過ごしています。また鶏たちは床に敷き詰めた栄養や微生物が豊富な堆肥をついばみ、久住高原で育まれた清冽なお水を飲むことで健康に育ち、美味しい卵を産んでくれるのです」



養鶏を地域経済を潤すための一手として、さらに「久住の自然を生かし健康で良い鶏を育て、地域をより良くしていきたい」という想いで養鶏組合を立ち上げたのが荒牧さんの祖父である光さん。環境にも鶏たちにも配慮し、地域貢献をも実現した先代の事業は、現在三代に渡り、大切に受け継がれています。

2017年、久住に戻ってきた荒牧さんは、代表を務める父の下で養鶏について学び始めました。会社をどう引き継ぎ、存続させていくかに頭を悩ませながら業務を続ける日々。そのうちに自分たちのこだわりや先代の思いをもっと見える形にアウトプットしようと考えた荒牧さんは、ホームページ作成やパッケージデザインの変更、パンフレットの制作を担当。デザイナーさんと根づめて生まれたデザインは、大自然で育ち生まれた卵であることを印象付け、また会社のビジョンやイメージを届けることができるようになりました。



対外的な施策に加えて荒牧さんが取り組んでいるのは、働きやすさの向上。祖父や父が大事にしてきた考え方を守りつつ、今よりもっと社員が働きやすく成長できる環境を作ることが責務だと考えています。

「創業30年の企業ですが、今まで会社の経営理念や企業理念がありませんでした。そこで社員と会議しながら、会社が向かうべき方向を明文化しました。その中で社員がやりたいことを見つけ、仕事をより面白く、楽しんでもらえたら品質も上がりますし、鶏たちにとっても良い環境になると思っています」

理念を社員と一緒に作り上げることで、改めて会社の核となる部分を全員で再認識できた時間は、組織を成熟させる機会となったそうです。



また2021年には新たな試みとして、卵を使ったプリンを開発し販売を始めました。きっかけとなったのは荒牧さんの結婚式。「婚礼料理に卵を使った一品をお願いできないか」とシェフに依頼したところ、提案してくれたデザートのパリンが参列者にも大好評だったことから、新商品としてプリン製作を始めました。



奥さまと一緒に試行錯誤しながら考案したプリンは、濃厚な味わいと、優しい甘さ、とろけるなめらかさ。

卵本来の旨味をしっかりと感じられる逸品となりました。

今後荒牧さんは竹田市内にプリンと卵の販売をメインにした、ゆっくり過ごせるカフェのような場所をオープンしたいと考えています。

「消費者の方と直接話す機会は今までほとんどなかったですから、卵の美味しい食べ方をはじめ、鶏たちの飼育方法や餌のこだわりなども伝える場にしたいと思っています。今食べているものがどういう背景で生まれたのかを知っているかどうかで、味の感じ方が異なってくると思いますから、久住にこういうこだわりを持った会社があるということを知って美味しく味わっていただきたいですね」

創業30年。創業から続く地域や鶏たちを大切にするという本質は変わりませんが、これからはより多くの人へ美味しさを届ける仕掛けを作りたいと今後の展望を話してくれた荒牧さん。

大自然の恵みを享受しながらすくすく育つ鶏たちと、それぞれの強みを生かし、より良い会社を作ろうと高め合う社員たちと向き合いながら、新たな景色を描こうとしています。

#### プロフィール

グリーンファーム久住 荒牧大貴

1989年生まれ、竹田市出身。東京の大学を卒業したのち、人材系のコンサルティング会社に就職。2017年に帰郷し、「グリーンファーム久住」で、対外的なブランディングやインナーブランディングにも注力している。2児の父。



たけたの食べ方マイスターとしての活動:

・卵の勉強会

【グリーンファーム久住】

住所: 大分県竹田市久住町大字久住4066番地2

<https://kuju-egg.jp/>